日本共産党を代表して、議案　第３３号　２０２０年度　寝屋川市一般会計補正予算（第２号）に賛成の立場で、意見を申し上げます。

　今回、提案された、新型コロナ感染症対応「緊急支援パッケージ」では、寝屋川市の独自対応策として、ひとり親家庭への支援金や、小中学生の給食費の１２月までの無償化、市内事業所への支援金では、府市連携事業が受けられない、事業所が対象になっていること、また、事業継続支援金として、休業要請に該当しない業種についても支援金の対象にしていること、濃厚接触者等の自宅での健康観察支援など独自施策について、議員団としても、要望した施策の前進を評価します。
　また、保健所については、必要な体制強化を求めておきます。

　緊急事態期間が５月末まで延長される動きの中、市内の事業者を守るための
市内事業者への市独自の支援金については、十分な周知と丁寧な対応と同時に
継続しての対応が求められるということを申し上げておきます。

　また、「緊急支援パッケージ」のその他の施策として、市民税をはじめ、介護保険料、水道料金などについては、猶予制度がありますので、市民が活用できるように周知を行い、市民が困っている時に、役に立てる市役所として、がんばっていただきたいことをお願いしておきます。

                                                    以上です。